



令和5年度 幼児教育研修（資質向上 松山ゼミ 第1回）

「見直そう 計画と記録」

日時：令和5年6月13日（火）15：00～17：00

会場：上沼田保育園

講師：和泉短期大学 教授 松山 洋平 氏

今年度から始まった研修、松山ゼミ第1回目が開催されました。集合研修とは異なり、一人一人の声が直接講師の先生に届きます。初回は各園の計画や記録を持ち寄り、情報共有や記録する上での課題点についてグループごとに話をしました。それらの話を受け、講師から計画や記録をとるときの保育者の視点や記録を書くことの意義についての講義を受けました。

明日の保育につなげる計画・記録

■書く時の悩み事■

- ・そもそも文章を書くことが苦手。
- ・何を書けばいいの？ポイントはどこ？
- ・次に活かしていける書き方って何だろう？
- ・エピソード記述を書くと、状況説明が長くなってしまふ。（何が言いたのかわからなくなってくる。）など

記録は、子どもがどんな思いで、どんな風にしていたか、その日にあった子どもの姿を記述しましょう。子どもの何を読み取るのかが重要!!

書式もいろいろあり、子どもの何を読み取るのかによって工夫し、自分の園に合ったものを使うといいでしょう。



人は写真に物語を見ます。写真を使うことで多様な状況が一目瞭然で分かります。するとそこから対話が生まれ保育の振り返りにもつながります。

一人で作成するのではなく、複数で作成することで、子ども理解の多様性、保育者同士の相互理解を深めることができます

多様な保育記録

エピソード記述

子どもの行動を観察してエピソードとして記録する。「私が体験した心感じたこと」を伝える。

ドキュメンテーション

写真等を用いた記録。この記録は保育者自身の振り返りのツールであるほか、子ども、保護者同士など多様な関係性の中で対話のツールになる。

保育マップ型記録

保育環境図に子どもの遊びの様子を書き込み、指導計画につなげる記録方式。

保育ウェブ

子どもの遊びや活動において大切にしたいキーワードを中心として、子どもたちの興味・関心を読み取りながら、子どもの姿を予測し、そこから連想される様々な事柄を連続的・発展的に自由に書き加えていく。

みんな同じような悩みをもっていたんだな。

実際に保育記録はどうやって書けばいいの？



ゼミの様子と研修生の報告書より

計画や記録は、次に活かすためのもの。というキーワードが強く心に残った。子どもたちの「おやっ?」「おっ!」といった心揺さぶられる瞬間を一緒に遊びながら、気付いていきたい。

エピソード記述を書く際、主観にならないように書いていた。出来事だけではなく、その時自分自身が感じたことをそのまま書いてよと分かり、受講後何を書いたらよいか迷うことや、書きにくさを感じる事が減った。

エピソード記録は、出来事を順に書いていくのではなく、子どもの心の動きを感じる事が大事。そして、心揺さぶられたことを私の体験として記録していくことを学んだ。



講師の先生を囲んで



グループワークの様子

次回は・・・
自分たちが取り組んだ記録を持ち寄って学びます。

